

編集後記

附属次世代型学び研究開発センター紀要『教育実践研究』は、2000年に創刊されました附属教育実践総合センター紀要『教育実践研究』を引き継いだ第16号に続いて、このたび第20号の刊行を迎えることができました。

本号では、特集ページ「オンライン授業などに関わる実践」、「教科教育におけるICT活用」、「その他教育実践に関わる研究」に関する論文、実践報告、資料、解説を募集し、査読のある原著論文は募集しませんでした。

特集ページ「オンライン授業などに関わる実践」には、オンラインの同期型や配信型による教育実践の公開に関する報告、プログラミング教育の指導力育成について、オンライン授業におけるICT活用事例、コンピューター利用教育におけるウェブツールの活用について収録されています。特集ページの実践報告5編、ICT活用に関する論文2編・実践報告3編、その他論文2編・実践報告5編・資料2編の計19編が掲載され、たいへん充実した内容となりました。

附属次世代型学び研究開発センターは、教育委員会、学校等と連携を図り、「学び」に関する理論的、実践的、臨床的な研究・開発を行うことで、「次世代型学び」を探求し、学生の教育や現場の先生方の研修に寄与することを目的としています。本年度は、公益社団法人信濃教育会と連携協定を締結したり、長野県庁内に「長野県ICT教育推進センター」を設置したりするなど、長野県内の教育に新しい学びを充実させていくことを目指しています。

時代は書籍等の電子化が進み、本紀要も次号からは電子版のみとなるため、冊子での発行は本号が最終となります。表紙のデザインは橋本光明名誉教授に、英文タイトルおよび要旨校閲は高橋ユウエン先生に、編集作業については事務補佐員の夏目尚子さん、荒井美帆さんに献身的なご協力をいただきました。この場をお借りしまして、編集委員会より心から感謝と御礼を申し上げます。

(第20号編集委員長 桐原 礼)